

一般社団法人日本鉱物科学会  
2020年度第3回臨時理事会 議事録

- 【1】招集年月日：2021年7月14日(水)
- 【2】開催年月日及び時刻：2021年7月27日(火) 18時00分～19時01分
- 【3】開催場所：国立科学博物館総合研究棟4階 地学研究部長室  
〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1  
(Zoom Meeting によるオンライン会議)
- 【4】理事総数および定足数：総数22名，定足数12名
- 【5】出席理事数：20名 オンライン会議参加

宮脇律郎，大和田正明，安東淳一，阿部なつ江，井上 徹，池田 剛，磯部博志，  
大藤弘明，鍵 裕之，片山郁夫，川本竜彦，河上哲生，栗林貴弘，黒澤正紀，  
辻森 樹，土屋範芳，永島真理子，三宅 亮，塚本尚義，吉朝 朗

- 【6】欠席理事数：2名(長瀬敏郎，伴 雅雄)
- 【7】出席監事：小暮敏博
- 【8】オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：和文誌編集委員会高澤栄一編集幹事代理，森下知晃Elements幹事，  
JpGU選出プログラム委員門馬綱一委員，教育普及委員会林信太郎委員長，  
新鉱物・命名・分類委員会門馬綱一委員長，博物館委員会坂野靖行委員長，  
IMA小委員会・学術会議西山忠男委員長，研究発表優秀賞選考委員会吉村俊平委員長

【9】議事概要

宮脇理事の発議により議長を理事の互選で選ぶこととなり，黒澤正紀理事が議長に選出された。黒澤議長から，2021年7月14日に理事会招集通知を行い，本日第3回臨時理事会を開催することになった旨の報告があった。

次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事20名の出席を確認したので，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，黒澤議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2020年度第3回臨時理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で黒澤正紀理事が書記として選出された。

## 1. 報告事項

### 1. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より，2020年度第2回定例理事会(2021年5月29日)以降の会員動静について，退会者21名(内訳：シニア会員7名，一般会員8名，学生会員6名)の報告がなされた．

### 2. 刊行費削減・電子ジャーナル化に関する報告（大和田副会長）

副会長より，学会の会計収支状況の改善策の一つとして，雑誌の電子ジャーナル化に向けた準備を進めており，現在，以下の課題について対応を進めていること，そしてこれらの手続きをスムーズに進めるため，この理事会で関連議案が承認されれば，すぐに作業を進める予定であることが報告された．

#### 電子ジャーナル化へ移行する際の課題

電子ジャーナル化については，1)現在冊子体を購読している会員への対応，2)電子出版する出版社の選定，3)会員への周知，4)電子ジャーナル化に伴う各種規則の改訂，5)出版社への電子出版の仮契約，が主な課題となっている．

- 1)冊子体を購読している会員への対応については，学会では図書館など公共機関への配布物を含めて冊子体は作成しないこと，冊子体を希望する会員には出版社を紹介して希望会員が直接出版社と契約できるようにすること，現在冊子体頒布の費用として1000円余分に頂いている会費を頒布費用無しに一本化すること，以上の変更に基づく規定・内規の変更を作成・提案することが予定されている．冊子体を希望する会員の会費払い込みは，例年9月の総会より前になるため，2022年1月に電子ジャーナル化に移行した場合，1月以降の会費は余分に支払っている状況となる．このため，状況に応じて余分にお支払い頂いた分を返却する準備も検討する．
- 2)電子出版を依頼する出版社については，現在，2社から見積もりを取って検討を進めており，今後理事会での検討を経て，正式な依頼先を決定する予定である．また，同じ出版社からは，冊子体を希望する会員がPDF原稿から冊子体を作成してもらうオンデマンド印刷についても予察的な見積もりもとっている．見積もりでは，冊子体の印刷に1万円以上余分に支払う可能性もある．
- 3)会員への電子ジャーナル化およびそれに伴う諸変更については，メール配信・配布物送付などで対応する予定．まずは学会として正式に電子ジャーナル化に移行することを第8号議案審議結果を以て全会員に会告を出すこと，その後，現在冊子体を希望する会員に対してオンデマンド印刷の詳細をアナウンスすること，他にJMPS誌・GKK誌の投稿ガイドラインの変更等が予定されている．
- 4)電子ジャーナル化に伴う各種規則の改訂では，上記の会費の件，規定・内規の変更が重要．
- 5)出版社への電子出版の仮契約については，現在冊子体印刷を依頼している小宮山印刷所との契約が2022年3月31日までとなっており，こちらから申し出が無い場合は自動的に契約更新となる．変更の場合は3ヶ月前の申し出が必要で，その後の変更の場合には残存業務に対して三割増しの

料金となる。2022年1月からの電子ジャーナル化のためには、少なくとも今年11月までに連絡する必要がある。

### 3. 英文誌経費削減案の報告（吉朝英文誌幹事・理事）

吉朝英文誌編集幹事より、会計事情の悪化への対応策定を会長から依頼され、幹事会を数回開いて検討、5月29日開催の英文誌JMPS編集員会で審議を行ったとの報告がなされた。編集員会での報告内容は下記の通りで、これに基づき今臨時理事会の第3号から8号議案を提案する。

#### 第4回JMPS編集委員会編集委員会報告(2021年5月29日(土) 13:00-13:45)

- (1) 報告事項：1) 編集状況報告：リジェクト率が高いので、エディター側でもう少し下げる努力をする必要性。また、特集号の企画について「はやぶさ」などを検討中。JMPSとGKKの合併は、共に電子ジャーナル化するなら不要との意見が多い。
- (2) 審議事項：JMPS事務移転可能性と財政健全化に関する動きと対応、財政健全化に伴うJMPS誌の発行形態の維持・変更、経費削減に向けた試みについて審議。その結果、1) 学会費用での英文校閲の中止(総会終了後の投稿から該当)、2) ページチャージ費用4,000円/頁の改正 会員6,000円、非会員8,000円(総会終了後の投稿から該当)、3) ページチャージ30%割引の廃止(総会終了後の請求書から該当。クーポンには但し書きとして「改正があればそれに準ずる」という文言が付記されている)、4) シニア会員ページチャージ無料は継続審議(回数、掲載ページの制限は未定)、5) ページチャージにつく無料別刷の廃止(理事会で審議)、6) オープンアクセス、CCライセンス内容の決定と英語文案は電子ジャーナル化の目的がいつから実施予定、7) 以上を反映した投稿規定改訂を9月に行う方向で準備、8) 理事会での承認必要事項は次回臨時理事会で提案。

### 4. 和文誌での検討案報告（長瀬和文誌幹事代理：高澤栄一）

高澤和文誌編集幹事代理より、前回理事会での報告の通り、電子ジャーナル化に向けた準備を進めており、特に方針の変更はないこと、実施の詳細については、今後詰めていく予定とのことが報告された。

### 5. 年会の途中経過報告（磯部行事幹事・理事）

磯部行事幹事より、2021年年会については、十分な参加申し込みを頂き、準備も順調に進んでいる旨の報告がなされた。また、2022年年会については、新潟大学LOCの小西委員長を通じ、地球化学会開催と惑星科学会開催の間となる9月17日(土)から19日(月)の日程で会場を予約、9月20日に糸魚川方面の巡検を準備中との連絡を受けているとの報告がなされた。

### 6. Elementsのオンライン購読会員の件（森下Elements幹事）

森下Elements幹事より、今後、Elements冊子不要の会員は、オンラインアクセス権だけを選択できるようになったとの報告がなされた(今までは、冊子体とオンラインアクセス権がセットで、オンラインアクセス権だけの選択はできなかった)。但し、オンラインアクセス権だけの希望者もElementsに支払う費用は変わらないとのことであった。そこで、出席理事に対し、当学会会員にこ

の件をアナウンスし、「オンラインアクセス権だけの希望者」を募るかどうか意見を求めたところ、必要性は無いとの総意であったので、この件については特にアナウンスしないことになった。

7. その他の報告：特に無し

## II. 審議事項

### 第1号議案 新入会員承認の件（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より、一般会員4名、学生会員31名(記載省略)の入会が紹介され、異議なく全員の入会が承認された。この結果、2021年7月27日現在の会員数総数は840名(内訳一般会員548名、シニア会員161名、学生会員94名、永年会員28名、名誉会員9名)で、2020年5月29日の定例理事会後より14名増加となった。

### 第2号議案 名誉会員推薦委員会の委員承認の件（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より、名誉会員の推薦を行うため、名誉会員の推薦・推薦諮問をする委員会の委員5名について提案がなされ、審議の上、異議なく承認された。委員長については、ご本人の了承を経てお願いすることになった。

委員長(委員の中から会長指名・委嘱)：小山内康人

委員(5名)：小山内康人，土山 明，吉朝 朗，大和田正明，阿部なつ江

### 第3号議案 JMPS誌での学会費用による英文校閲中止の件（吉朝英文誌幹事・理事）

吉朝英文誌幹事より、報告事項3にもある通り、刊行費の経費節減の一環として、JMPS誌での学会費用による英文校閲の中止が提案された。今年9月の総会終了後の投稿から適用予定で、以後は投稿者の責任で校閲をお願いする形になる。審議の後、異議なく承認された。

### 第4号議案 JMPS誌のページチャージ費用改正の件（吉朝英文誌幹事・理事）

吉朝英文誌幹事より、刊行費の経費節減の一環として、ページチャージ費用の改正が提案された。JMPS誌は、現在、J-stageを通じて論文へのアクセスが非常に良くなっており、利便性と受益者負担の観点、経費節減の観点からやむなく値上げを提案する。現行4,000円/頁のところを、会員6,000円/頁、非会員8,000円/頁とし、今年9月の総会終了後の投稿から適用する予定。図版等のカラー化に伴う追加のページチャージについては今後検討する。なお、ページチャージは、著者である支払い者が会員であれば会員価格適用、著者である支払い者が非会員であれば非会員価格適用。JMPS誌は、公開が速いのでオープンアクセスジャーナル的で、ページチャージというより公開費用ともみなせるが、この件は今後検討する。値上げによって海外からの非会員の投稿が減る可能性もあるが、投稿者はできるだけ会員になってもらうという方針での値段設定である。以上について審議の後、異議なく承認された。

第5号議案 JMPS誌のページチャージ30%割引の廃止の件（吉朝英文誌幹事・理事）

吉朝英文誌幹事より、会計状況改善の一環として、投稿を促すサービスとして実施してきた「次回投稿のページチャージに対する30%割引クーポン」について、今年9月の総会終了後から発行しないことが提案された。クーポンが廃止されても、優れた論文に対する表彰制度などが設定されており、会員の成果を広く知らせる重要な媒体であるので、会員には引き続き積極的な投稿をお願いしたい。但し、既に発行されたクーポンには有効期間2年間が明示されているため、発行済みクーポンについては期間内有効とするとの修正を経て、異議なく承認された。

第6号議案 JMPS誌の無料別刷の廃止の件（吉朝英文誌幹事・理事）

吉朝英文誌幹事より、現行のページチャージには無料別刷50部の著者配布のサービスが付随しているが、電子ジャーナル化に伴い、その廃止が提案された。来年2022年1月からの実施を予定し、関連する投稿規定についても改訂をする予定とのこと。提案は審議の後、異議なく承認された。

第7号議案 JMPS誌とGKK誌の電子ジャーナル化の件（大和田副会長）

大和田副会長より、今年5月の第2回理事会で承認されたJMPS誌・GKK誌の電子ジャーナル化について、今回正式に、来年2022年1月から実施することが提案された。今年9月の総会での承認を経て実施する予定で、報告事項2で挙げられている5つの課題(現在冊子体を購読している会員への対応、電子出版する出版社の選定、会員への周知、電子ジャーナル化に伴う各種規則の改訂、出版社への電子出版の仮契約)への対応の実施についても承認を得たい。詳しい実施内容は逐一、理事会に報告する予定である。提案は審議の後、異議なく承認された。

第8号議案会員に対する電子ジャーナル化の会告の件（大和田副会長）

大和田副会長より、今年5月の第2回理事会で承認されたJMPS誌・GKK誌の電子ジャーナル化の方針について、会員に対するアナウンスが実施されていないので、下記のような文面の会告を全会員に向けて発送することが提案された。特にメールで会告を受け取ることが難しい会員には郵送することとした。提案は審議の後、異議なく承認された。

-----会告案-----

一般社団法人日本鉱物科学会会員の皆様

2021年7月 日  
一般社団法人日本鉱物科学会  
副会長 大和田正明  
JMPS編集委員長 吉朝 朗  
GKK編集委員長(代理) 高澤栄一

日本鉱物科学会 GKK, JMPSの完全電子化について（理事会報告）

拝啓

平素、会員の皆様には当学会運営にご支援をいただき厚く御礼申し上げます。  
本日は、2020年度第2回定例理事会（2021年5月29日開催）におきまして審議されました重要な結果

のお知らせと、それに関するお願いの連絡です。なお第2回定例理事会議事録は下記サイトをご覧ください。[http://jams.la.coocan.jp/2020\\_2-Riji.pdf](http://jams.la.coocan.jp/2020_2-Riji.pdf)

#### (1) 審議結果

第2回理事会では、以下の経緯から懸案であった学会の会計収支を改善する抜本的な対応策の一つとして、できるだけ早い時期にGKKとJMPSの完全電子ジャーナル化の方針が話し合わせ承認されました。

#### (2) 経緯

以前の監査報告で、この数年間、会員減少に伴う会費収入の減収と出版収入の減少、および多大な出版費や管理費の支出によって、学会会計の収支が定常的な赤字となっていたことへの指摘があり、その後、その対応策について担当幹事を中心に検討（会員増、会員維持対策、アンケート、一部学会費の見直しなど）を重ねて実施し、毎年定時総会で報告してまいりましたが、退会者は増加する一方で、会員増加そして劇的な収入増まで見込めないのが現状でした。更に、会計幹事による今後の会計収支シミュレーションの結果、このような状況が続けば、数年後には学会事業を凍結せざるを得ない厳しい事態となることが明白になり、理事会では、最早、これまでと同じような対策では収支改善の見込みがなく、学会活動を継続できないと判断し、早急に支出の抜本的な改善を行うことが話し合わせました。

これを受け、支出の抜本的な改善の一環として、当学会が発行しているGKKとJMPSについて、各編集委員会を中心に刊行費の見直しを行い、それを元に検討を重ねた結果、現在の電子版・冊子体の併用から完全電子版のみとすることが第2回理事会で承認されました。

#### (3) 完全電子版における冊子体の件

完全電子版のみとなった場合、当学会で冊子体の印刷は実施しませんので、図書館、書店等へ向けた冊子体の販売は停止せざるを得ない状況となります。また、従来通り、どうしても冊子体を希望される会員や図書館等には、電子版から冊子体を印刷する印刷所を紹介する予定です。個人・機関で注文購入をお願いすることになります。その冊子費用は全額個人負担でお願いしたいと考えております。こうした費用の見積もりにつきましても、後ほどお知らせする予定です。

#### (4) 冊子版購読希望者の差額費用1,000円の件

現在、冊子版を購読されている会員の皆様方には、基本会費+1,000円を納入していただき、GKKとJMPSを学会から送付しておりますが、完全電子版のみの体制に移行する場合は、基本会費のみの納入とさせて頂く予定です。今年9月17日の定時総会で、GKKとJMPSを完全電子ジャーナルとすること、それに伴い、学会費納付は基本会費のみとすることを提案させて頂く予定です。

#### (5) ご意見、お質問お伺い

完全電子ジャーナル化によって、電子ジャーナルPDFファイルのカラー化など、より読みやすい雑誌編集を目指しております。

上記に関しまして、ご意見・ご議論等がございましたら、学会事務局へご一報いただければ幸いです。

以上、大変急なことではございますが、会員の皆様方におかれましては、本学会のこのような状況をご理解いただきまして、ご協力を心よりお願い申し上げます。

敬具

その他

今年9月の広島大学での年会に関して、広島大では新型コロナウイルス感染防止への対策がきちんとしているので、安心して現地参加できる旨のアナウンスを会員に対して行っても良いのではとの意見があったが、現状では緊急事態宣言など9月の時点での感染状況を見通すことが難しいため、8月末の状況を見て検討することになった。なお、現地参加を強く勧めるというニュアンスではなく、オンラインでも現地参加でも学术交流が十分可能な状況に準備してあるので、積極的な参加をお願いしたいというアナウンスである。

【10】閉会 以上の議事を終え、19時01分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和3年(2021年)8月5日

会 長 宮脇 律郎 印

副会長 大和田 正明 印

監 事 小暮 敏博 印  
(配布時押印省略)